

12. 盲学校専攻科生徒への点字や歩行等の指導の実態

澤田真弓

はじめに

盲学校専攻科には教育課程上、自立活動の指導がない。しかし、実際には、中途失明の生徒に代表されるように、点字や歩行等の指導の必要な生徒が在籍している。これらの生徒への指導の実態を明らかにする。

12-1 専攻科生徒への自立活動の指導の有無と指導時数

全国の盲学校71校（分校を含む）中、59校に専攻科が設置されている。今回45校から回答を得たが、そのうち、約3分の2の29校において自立活動の指導がなされていることが明らかとなった（図12-1）。

また、指導を行っている29校中21校から、自立活動の平均週指導時数について回答があった。その結果、指導時間は、おおよそ平均週2.0時間であった。

12-2 専攻科生徒の自立活動の指導担当者（複数回答）

自立活動の指導を行っていると答えた29校で、実際の指導に当たっているのは誰なのかを複数回答で調査した結果、自立活動専任教員が指導しているところは、3校（10.7%）であり、担任、その他と答えたところは、いずれも17校（60.7%）であった（図12-2）。その他と答えた学校では、担任や自立活動専任者ではないが、専攻科に所属する教員や、他学部の教員等、校内操作で指導を行っている。

12-3 専攻科生徒への自立活動の指導担当者の持ち時間数への組み込み

自立活動の指導を行っていると答えた29校中、その指導時間が各指導者の持ち時間数に組み込まれているかを調査した結果、28校から回答を得た。持ち時間数にすべて組み込まれているところは17.9%、すべてではないが、一部組み込まれているところが14.3%であった。全体の67.9%のところでは、まったく持ち時間数に組み込まれていない状況が明らかとなった（図12-3）。

また、持ち時間数への組み込み状況を専任者・担任・その他の教員で比較したのが図12-4である。これによると、専任者の場合は、持ち時間数に組み込まれている割合が高いが、担任や、その他の教員においては、まったく組み込まれていない割合が高くなっている実態が明らかとなった。

12-4 時間外に自立活動の指導を行うことへの負担感

教育課程上、専攻科の自立活動の指導はない。従って、指導を行う場合は、必要に応じて、授業以外の時間帯で行うこととなる。各指導者の時間外の指導の負担感を調査した結果、27校から回答を得た（図12-5）。負担感を持っている指導者は、「非常に負担」、「負担」、「やや負担」を含めると、40.7%であった。また、負担感を持っていない指導者は、「まったく負担でない」、「負担でない」、「あまり負担ではない」を含めると18.5%であった。「どちらとも言えない」と答えた指導者は、負担感を持っている指導者と同数の40.7%であった。これらの結果から、どちらかと言えば負担に感じている指導者の割合が、高いことが分かった。

12-5 考察

12-1の結果から、回答のあった45校のうち、約3分の2の盲学校では、生徒への自立活動の指導の必要性を認めて行っている。残り3分の1の学校については、「行っていない」という回答であった。この回答については、専攻科入学時点ですでに、点字や歩行について習得しているから指導の必要性を認めないのか否か等、今回の調査では、明らかにできなかった。専攻科に入学してくる生徒は、中途で視覚障害になった人たちが多く、これらの生徒達の中には、点字指導や歩行指導について、入学前にリハビリテーションセンターや点字図書館等で指導を受けてくる人たちもいる。今後、これら福祉関係施設との連携が必要ではないだろうか。

12-2、12-3の結果から、専攻科の実際の指導者は、

自立活動の専任教師というよりも、担任やその他の教員に負うところが大きい。また専任教師は、その指導時間が、持ち時間数に組み込まれているところが多いが、担任やその他の教員においては、時間数に組み込まれておらず、指導の必要性に迫られて、担当者の熱意によって指導が行われているところが多い。

その指導の負担感については、12-4の結果から、どちらかといえば負担感を持っている指導者の割合

が高かったが、「どちらとも言えない」という回答も同数であり、その理由については明らかにはできなかった。

実際に指導の必要性を認めて行っている学校が3分の2あるのであるから、教育課程上、指導時間がないといっても、生徒達の自立活動の指導のニーズに応えられるように、自立活動専任者の確保等、その対策を検討していく必要があるのではないだろうか。

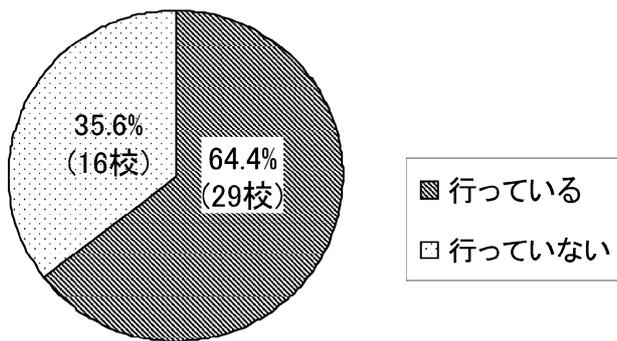


図12-1 自立活動の指導の有無

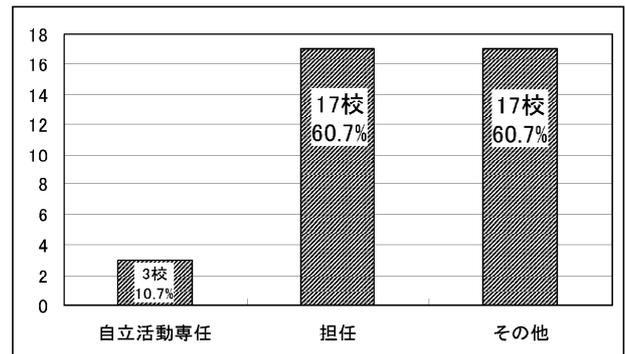


図12-2 実際の指導者

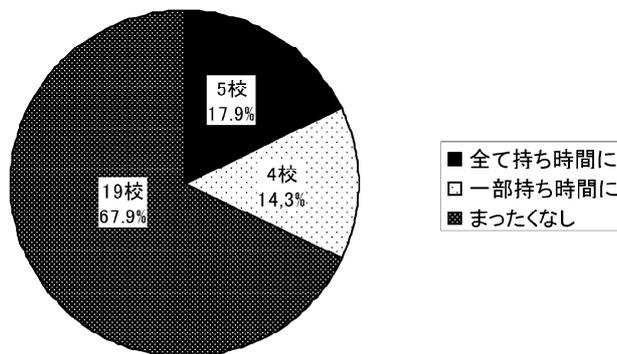


図12-3 持ち時間数への組み込み

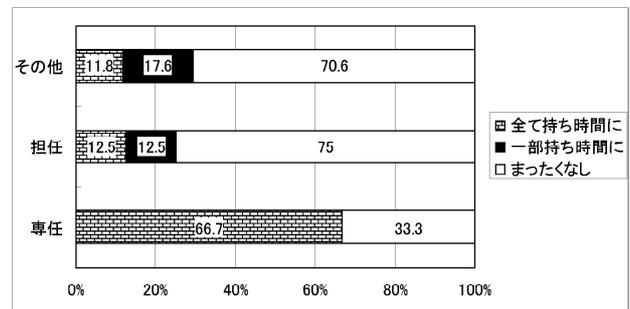


図12-4 指導者ごとの持ち時間数への組み込み状況比較

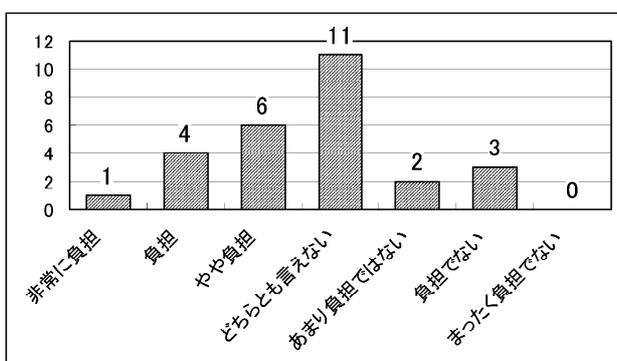


図12-5 時間外に自立活動の指導を行うことへの負担感